

# 博物館わくわく通信

Vol.22

—展示解説員が博物館の見どころを紹介します—



2024.10.1

## コンクリーション

皆さんは博物館の正面にある大きな丸い岩を見た事はありますか？恐竜の卵？それとも昔の人が丸く削ったオブジェ？この丸い岩は「コンクリーション」です。コンクリーションとは、海で生物が死んだ後、死骸からしみ出した炭素と海水中のカルシウムイオンが反応して出来た石灰成分が、死骸を中心に球状の岩になった物です。宮崎では宮崎平野から鶴戸山地を構成する宮崎層群に多く含まれています。博物館前のコンクリーションは田野町で発見され、今から約650万年前に出来ました。これは国内でみつかるコンクリーションの中でも大型のものです。コンクリーションは昔の生物や環境を閉じ込めたタイムカプセルとも言えます。



博物館前のコンクリーション

## 木簡

歴史展示室に展示している木簡は、西都市から出土した实物資料と奈良の平城京から出土した木簡のレプリカです。古代では簡単な用件を相手に伝える手紙や、積荷の内容などの記録に木簡が使われました。材は大部分が檜や杉で、加工しやすい木の特性を生かし、材の両端に左右から切り込みを入れその切り込み部分のくびれを使って荷物などに括り付けました。木簡の長さは20センチから30センチのものが多く、墨で文字を書き、使い終わると刀子といったナイフのようなもので表面を削って再利用しました。

当時の日向国の古代史を知る重要な資料です。ぜひ展示室でご覧ください。



西都市から出土



平城京から出土(レプリカ)

## 博物館クイズ

えびの市、小林市、都城市などでは石で作られたタノカンサアを見ることができます。  
さて、どんな神様でしょうか？

- ① 田の神様    ② 林の神様    ③ 森の神様



斎田の田 ① 神趣王

